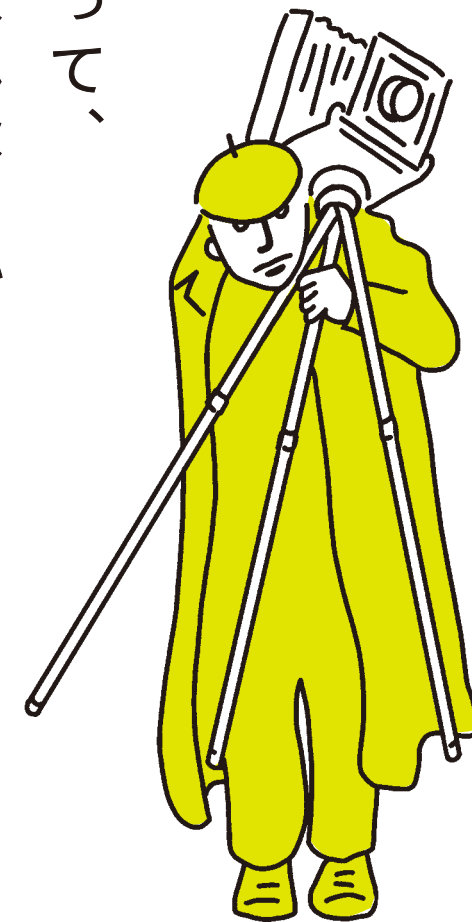


アートって、
後から効いてくる。



私たちにとって、
アートってなんなのか？
大坪先生、教えてください。

「光と影の写真家」と呼ばれるヨゼフ・スデック。

彼の祖国チェコ共和国は

長く共産主義体制で、芸術家は目立った活動をすれば

秘密警察に捕まる世の中でした。

スデックはこの状況を逆手にとった。

彼はアパートメントの中庭にあるアトリエに14年間こもり、

窓から差し込む光で静物を撮り続けました。

彼が中庭にこもった時間は、その時代のチェコを象徴して
いるといってもいいでしょう。

スデックは21世紀の今でもチェコ人の心を表す作家と

評価されています。写真をはじめ、アートは必ずしも

社会にとって即効性のあるものではありません。

むしろ長い時間をかけて意味をもち、

人の心の支えのようなものになっていくのです。

人はアート作品を通じ、いったん現在から離れて、

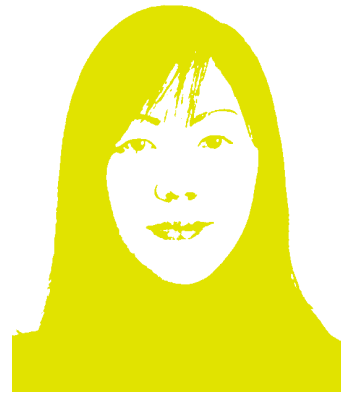
遠い過去や見えない未来を想像する。

そうして自分の考え方や生き方を見つめ直している

のかもしれない。だから私たち人類は

アートをつくり続けるのでしよう。

※当時は、チェコスロバキア社会主義共和国(1948～1989)



芸術学科
准教授 大坪 晶



和光3分大学

YouTube・Twitterでも情報発信中！ 学科紹介・入試情報や模擬授業動画もあります

YouTube 検索 / Twitter @wako_nyushi

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学